

カンパニーデラシネラ
「古典名作劇場シリーズ」第4弾
『シンデレラ』

2026年
11月23日(月・祝) 14:30開演(14:00開場)
会場：岡山芸術創造劇場 ハレノワ 中劇場
(岡山市北区表町3-11-50)

終演後にミニワークショップ「マイムちよこっと体験」&ステージツアーを開催！
詳細はHPをご覧ください。

料金(全席指定・税込)

一般:3,500円 U24:1,500円

※3歳からチケットが必要。2歳以下は保護者1名につき、1名まで膝上鑑賞無料。
席を使用する場合はチケットをご購入ください。

取扱いプレイガイド

▶岡山芸術創造劇場ボックスオフィス

[窓口・電話] 086-201-2200 (休館日を除く10:00～18:00)

[オンラインチケット] <https://piagettii.s2.e-get.jp/ocacticket/pt/>



▶岡山シンフォニーホールチケットセンター

[窓口・電話] 086-234-2010 (休館日を除く10:00～18:00)

※岡山シンフォニーホールチケットセンターは改修工事のため
9月24日(木)まで休業。

▶イープラス eplus.jp/ファミリーマート

▶チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 【Pコード:544-615】

▶ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード:61524】

▶ぎんざやプレイガイド

[窓口・電話] 086-222-3244

※ぎんざやプレイガイドではU24チケットのお取扱いはございません。

注意事項

- ・U24は公演時24歳以下の方が対象。入場時に身分証を確認いたしますので必ずご持参ください。
- ・車いすで鑑賞をご希望のお客様は、ご案内できるスペースに限りがあるため、岡山芸術創造劇場ボックスオフィスまでお問合せください。
- ・チケットご購入後のキャンセル・変更はお受けできません。
- ・公演中止または主催者がやむを得ないと判断する場合を除き、チケットの払い戻しはいたしません。
- ・舞台演出の特性上、見切れ席等を解放する場合がございます。予めご了承ください。
- ・営利目的でのチケット購入ならびに転売は固くお断りいたします。

ご来場にあたって

- ・やむを得ない事情により、内容・出演者等が変更になる場合がございます。
- ・開演後は入場を制限させていただく場合がございます。また、本来のお席にご案内できない場合がございます。ご了承ください。
- ・障がいなどの理由により歩行が困難な方は、専用の車両スペースをご利用いただけます(事前申込・先着順)。施設利用担当[TEL 086-201-8016]までお問合せください。
- ・お客様用の駐車場はございません。近隣のコインパーキングや公共交通機関等をご利用ください。
- ・アクセス及びアクセシビリティに関する詳細は劇場ホームページをご覧ください。



お問合せ

岡山芸術創造劇場
ボックスオフィス

TEL:086-201-2200

(休館日を除く10:00～18:00)

新作初演

古典名作劇場シリーズ第4弾

デラシネラの

シンデレラ

演出 小野寺修二 出演 浅野和之 藤田桃子 崎山莉奈 劉睿筑 ユーリック永扇 小野寺修二

2026年

11/23 14:30開演
(月・祝)

岡山芸術創造劇場 ハレノワ 中劇場



岡山芸術創造劇場 ハレノワ
Okayama Performing Arts Theatre, Harenowa

主演・浅野和之！ 魔法が切り拓く、 もうひとつの『シンデレラ物語』



『ロミオとジュリエット』photo: 伊藤華織、『ドン・キホーテ』『はだかの王様』photo: 釣井泰輔

マイムの独創的な動きで、独自の演劇作品を生み出してきたカンパニーデラシネラ。観客のイマジネーションを誘う、セリフのないマイムならではの身体表現は、子どもから大人まで、国籍も言語も越えて多くの人を魅了してきました。そんなデラシネラが贈る、大人も子どもも楽しめる〈古典名作劇場シリーズ〉待望の第4弾が岡山に！俳優・浅野和之を主演に迎え、世界中で親しまれてきた名作『シンデレラ』をお届けします。誰もが知るおなじみの世界、当たり前が、いつの間にか軽やかに裏返っていく。デラシネラ版『シンデレラ』をお楽しみに。



浅野和之



小野寺修二



藤田桃子



崎山莉奈



劉睿筑



ユーリック永扇

Company Derashinera

カンパニーデラシネラ

2008年、小野寺修二のセルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品を創作し、国内にとどまらず国際共同や海外公演など幅広く行う。また小中学校の巡回公演など、次世代に向けた取り組みも積極的に取り組んでいる。

Cast

浅野和之（あさの・かずゆき）

1954年生まれ、東京都出身。俳優。安部公房スタジオ、劇団夢の遊眠社を経て、舞台・映像を問わず幅広く活躍。シリアスからコメディまで自在に演じる実力派として高く評価され、パントマイムを取り入れた身体表現にも定評がある。2011年に『叔母との旅』の演技で第18回読売演劇大賞最優秀男優賞を受賞。令和6年度（第75回）芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

小野寺修二（おのでら・しゅうじ）

カンパニーデラシネラ主宰・演出家。日本マイム研究所で学び、「水と油」での活動（1995–2006）を経て、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として渡仏。帰国後カンパニーデラシネラを設立する。マイムを軸に演劇などの振付も手がける。読売演劇大賞最優秀スタッフ賞、日本ダンスフォーラム賞受賞。文化庁文化交流使（2015年度）。

藤田桃子（ふじた・ももこ）

岡山県生まれ。両親は高知県出身。日本マイム研究所で学び、小野寺修二らと「水と油」を結成。2008年カンパニーデラシネラ設立以降、全作品に出演または演出助手として参加。主な出演作に RooTS Vol.4『あの大鴉、さへも』での小林聡美、片桐はいりとの三人芝居など（2016年）。

カンパニーデラシネラ〈古典名作劇場〉

『ロミオとジュリエット』（2011）

『ドン・キホーテ』（2017）

『はだかの王様』（2021）

本シリーズ3作品はこれまでに全国33都府県160会場以上の小中学校・劇場等を巡演してきました。今回も学校公演やアウトリーチを開催します。

Director's Notes

ディレクターズ・ノート 小野寺修二

『デラシネラのシンデレラ』は、浅野和之さんがタイトルロールです。今回のデラシネラ版で見せたいのは、凸凹が生みだす期待について。もちろん均一は美しい。しかし浅野さん演じるシンデレラによって、気づいていない裏側や別の形が見えてくるかもしれない。

古典名作劇場はこれまで、ろうの舞踏家である雫境さん、今回の台湾の劉睿筑さん等、文化、国籍の異なる方々と一緒にしてきました。セリフがないため観客は、出演者の身体が発する情報を各々がキャッチし、咀嚼していくことになります。世の中は便利になり、結果均一化されていくように感じます。「標準」から外れたくない思いは強まり、良かれと進む整然の中、取り残されてしまうことがある。均一が正しいとも限らない。緩めていい。

表現についての掛け違えは、本質だと思っています。



シンデレラとは、暖炉の灰（cinder）にまみれ、召使いのように働く姿から「シンデレラ（灰かぶり）」と呼ばれた少女の物語。似た物語は古くから世界各地に伝わり、17世紀末にはフランスの詩人シャルル・ペロー、19世紀にはドイツのグリム兄弟による童話集にも収められました。ガラスの靴、かぼちゃの車、真夜中を告げる鐘——。時代を越えて姿を変えてきた物語が、デラシネラのシンデレラとして舞台に立ち現れます。

初演クレジット

演出：小野寺修二

出演：浅野和之、藤田桃子、崎山莉奈、劉睿筑、ユーリック永扇、小野寺修二

舞台美術：杉山至、石黒猛 音楽：国広和毅 衣裳：今村あずさ

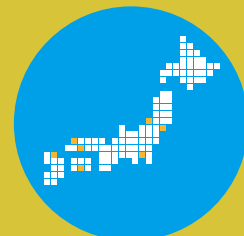
照明：阿部康子 音響：池田野歩、野崎爽 舞台監督：橋本加奈子、川口真人

イラスト：チャーハン・ラモーン 広報物デザイン：重実生哉

Tour Schedule

7地域共同製作 初演ツアー

- 11/20（金）・21（土）高知県立美術館
- 11/23（月・祝）岡山芸術創造劇場 ハレノワ
- 11/28（土）久留米シティプラザ
- 12/5（土）島根県立いわみ芸術劇場（グラントウ）
- 12/13（日）いわき芸術文化交流館アリオス
- 12/19（土）リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館・劇場
- 12/26（土）カンパニーデラシネラ（会場：北とびあ）



主催：公益財団法人岡山文化芸術創造

共催：岡山市

助成：一般財団法人地域創造

協力：おかやまアーツフェスティバル実行委員会

（おかやまアーツフェスティバル2026提携事業）

公益財団法人セゾン文化財団、シス・カンパニー

デラシネラの

シンデレラ